



議会だより

でいすかす

112号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2022.6.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

予算審査特集

委員16名が
令和4年度予算を問う

令和4年度当初予算の内訳

全会計

397億7,230万円

(前年度当初比 14億3,910万円増)

一般会計

225億7,200万円

(前年度当初比 8億4,000万円増)

特別会計

102億6,060万円

(前年度当初比 1億7,560万円減)

公営企業会計

69億3,970万円

(前年度当初比 7億7,470万円増)

予算審査の概要

令和4年度当初予算の特徴は、令和3年度から2年連続で均衡予算を編成することができたことです。

公共施設の廃止等による、ランニングコストの削減やごみ関連手数料の引き上げなど、市民の理解を得ながら取り組んできた行財政改革の成果が大きいと考えます。

また、市税の大幅な増や、ふるさと納税寄付金等による歳入を見込むことができたことも要因です。

令和4年第1回定例会において、3月10日～15日の間、予算・決算委員会を開催し、令和4年度の予算関連議案の審査を行いました。

委員16名から約140項目にわたる質疑の後、総括質疑を行い、審査は合計で16時間30分に及びました。

その結果、一般会計予算、各特別会計予算及び各事業会計予算を全て全会一致で可決しました。

詳しい質疑の内容を録画中継でご覧いただくことができます。スマートフォン等をお持ちの方は、下記の二次元コードからぜひご覧ください。



予算の主な事業は、(仮称)登別市情報発信拠点施設整備事業費6億1千245万円、市営住宅(千代の台団地)建替事業費4億6千696万円、ワリンフルセンター中間改修事業費2億5千864万円、消防本部新庁舎建設事業費1億7千641万円、市役所本庁舎建設事業費1億2千886万円となっています。

審査の経過と結果について、一般会計予算は、歳出は各款ごとに、歳入は全般にわたり、それぞれ質疑を行い、総括質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

次に特別会計予算は、国民健康保険、学校給食事業、介護保険、カルルス温泉スキー場事業については、歳入歳出全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

次に公営企業会計予算は、水道事業及び簡易水道事業について、収支全般にわたり質疑を行い、全会一致で原案のとおり可決しました。

(二瓶)

予算・決算委員会（令和4年度予算審査） 総括質疑、各委員の質疑

総括質疑

市民・前進



質 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用は。

答 令和4年度当初予算では、経済対策として湯之国登別レレワーク推進事業やワーケーションを通じた移住促進事業を、情報化対策として公共施設予約システム事業や証明書等手数料キャッシュレス決済導入事業、衛生対策を加え、合計約1千800万円の活用を予定している。

質 令和4年度に使える臨時交付金は約2億5千万円であり、残りの約2億3千万円の活用の考えは。

答 市内消費を喚起し、建設事業者への影響を緩和するため、エール建設券発行事業による緊急経済対策を講じる。また、本臨時交付金の目的を鑑み、経済対策や情報化対策を優先して、市内経済の状況等を勘案しながら取り組みを検討していく。

そのほか、歳入・歳出の編成や自主財源・依存財源の均衡予算を編成できた傾向と、コロナ禍における職員管理や公共施設の適正配置の考えと削減の現状、千代の台団地への保育所移設などの子育て政策や地域公共交通課題など、市の考えをいただきました。

(千田)

総括質疑

市政クラブ21



質 昨年10月公表の中期財政見通しと令和4年度当初予算を比較した見解は。

答 令和3年度決算見込みが約10億円となり、財政調整基金等の残高見込みは17億3千100万円になる見込みである。また、積立可能となった要因は、市

税収入の増や見込み以上の国の交付金の支給に加え、執行残や前年度繰越額が多かったことなど認識している。

質 市役所本庁舎をはじめ、今後の大型施設建設事業が、想定される中で、毎年度の予算や後年度の市債償還に対する考えは。

答 活用できる財源として、国や道の有利な起債を活用し、その上で起債裏となる頭金部分は、庁舎整備基金に積み立てるなどの事前準備によって、一定程度の平準化ができるものと考えている。将来的な公債費負担は、国などの補助の活用と、市役所本庁舎や消防本部新庁舎では、緊急防災・減災事業債の活用で単年度財政負担は抑えられる。

質 今後を踏まえた市長の考えは。

答 市役所本庁舎や消防庁舎は市民の安心や生命と財産を守るため、またゼロカーボンシティ実現を目指し持続可能な新しい時代に向け取り組んでいく。

(杉尾)



成年後見制度の親族への周知は

質 介護保険特別会計における成年後見人は、親族が基本であり、周知の徹底が必要ではないか。

答 成年後見制度に関する相談は増加しているが、市民後見人は、その責任の重さなどから、育成がなかなか進んでいない現状にある。

今後については、市民向けの講座において、将来自分の親族に対して後見人となることを考えている方なども参加できるなど、活動に興味を持ってもらえる工夫をしていきたい。

(天神林)

スキー場経営戦略の進行状況は

質 センターハウスの改修時期はいつになるのか。

答 センターハウスについては、経営戦略では令和7年度に屋根、外壁の塗装修繕を行う予定だが、令和5年度から6年度にかけて実施予定としている。第1リフトの大規模改修が半導体不足等の影響により、後ろ倒しとなる可能性もあることから、第1リフトの大規模改修の時期やセンターハウスの屋根、外壁の状況などを勘案し実施時期を検討したいと考えている。

(工藤)

公共施設の除却費用を削減する考えは

質 公共施設の除却には多額の費用を要するが、費用の回収は難しいのが現状である。施設の維持管理に費用を充てることで売却や利活用をしやすいとして、除却費用を削減する考えは。

答 老朽化した施設は取り壊して売却しているが、行政目的を完了した場合、若干の修繕を加えることで利活用が可能であれば売却や貸し付けも考えられる一方で、公共施設の面積の削減も図らなければならず、さまざまな観点から検討する必要がある。

(小栗)

移住促進への取り組みはいかに

質 前年度との取り組みの違いは。

答 令和3年度に日本工学院北海道専門学校にワーケーションや企業誘致を進めるためサテライトオフィスが整備され、令和4年度から、ワーケーションの普及促進のため、コワーキングスペースの運営、ワーケーションに関する情報発信、コンシェルジュ機能の確立など、ワーケーション業務に関して、地域おこし協力隊が中心となり、人をつなぐ役割なども担いながら取り組むことが令和3年度との違いである。

(成田)

情報化推進経費の重点取り組みは

質 令和4年度、新たに取り組む重点的な事業は何か。

答 市民のためのデジタル活用推進事業では、高齢者などスマートフォン等の使い方に不安のある市民を対象とした講習会を年8回計画している。

また、公共施設の予約を従来通りの電話による予約と、ウェブを活用し、パソコンやスマートフォンなどを用いたオンラインによる施設予約の管理システムを導入する。予約期間の見直しなど、利便性の向上に向けて取り組む。

(千田)

窓口でのキャッシュレス対応はいかに

質 令和4年度より窓口でのキャッシュレス対応が開始されるが、デジタルの活用には慣れない高齢者の方への対応と、使用できるカードの種類と現金の取り扱いについて伺う。

答 高齢者の対応には、スマートフォン教室などを通じて普及に努めるほか、使用できるカードの種類は広範囲な対応と大型商業施設で利用可能なカードが使える仕様を考えている。

現金の取り扱いについては、今後とも従来通りの利用が可能となる。

(田中)

公共交通活性化への取り組みに向けて

質 地域公共交通等検討会議経費は、地域公共交通活性化協議会の経費です。登別市公共交通計画に沿って、協議事項や実施事業の内容を質疑しました。

答 協議事項の優先順位や進め方は、高齢者等の交通弱者へ向けた、利用料金の助成制度をはじめ、バスの乗り方教室の開催などを検討していく。

質 バスの乗り方教室の開催概要は。

答 3回程度を目標に、商業施設やイベント会場での活用を考えているが、バス事業者と協議をしながら実施していく。

(伊藤)

地域福祉の充実と文化の伝承を

質 社会福祉協議会の予算増額理由は。

答 本市の地域福祉に欠かせない存在と認識し、安定的な経営に向け、人件費のみを補助対象経費としたため。

質 町内会組織がない富浦町の防犯灯の維持管理の現状は。

答 地域有志を中心に富浦町防犯灯を守る会が発足、他町内会と同様に管理している。

質 老朽化した郷土資料館の管理状況や今後の工事や増築の必要性は。

答 登別市教育施設等個別施設計画に記載される財政情勢を踏まえ検討する。

(杉尾)

保育所の入所決定通知の早期発送を

質 令和4年度の保育所入所決定通知の発送スケジュールは。

答 令和4年3月1日に決定し、3月3日に発送している。

質 保育所運営の第一の目的は、保護者の家庭と仕事の両立支援であり、入所まで1カ月に満たない段階での決定通知は遅すぎるのでは。

答 現行の1カ月前の通知では遅いとの意見も理解できるので、令和5年度にはさらに1カ月程度の前倒しを目標に進めていきたい。

(今野)

市立看護専門学院の整備負担の継続を

質 本市が整備費一部負担の市立室蘭看護専門学院の看護師試験の合格率は。

答 過去3年間で平均98%である。

質 看護学院の内、登別市民の占める割合と卒業生の主な就職先はどこか。

答 卒業生の約25%（過去3年間）は本市の市民であり、主な就職先は、市立室蘭総合病院、製鉄記念室蘭病院、JCHO登別病院である。

同学院は、若年層の転出防止と、地域医療の充実の観点から欠かせないものであり、負担継続の提言をしました。

(若木)



予算・決算委員会（令和4年度予算審査） 各委員の質疑

リサイクルまつりでのSDGsの取り組みは

質 現在SDGsが行政においても施策展開の基本的な考えに取り入れられ、指標も提示される中、本事業にあるイベントやブースとの関連性を市民に分かりやすいように掲示するなど、工夫する考えはないのか。

答 SDGsとの各イベントやブースとの関連性については、環境基本計画（案）で各施策にSDGsを関連付けて表記しており、これを参考に表現可能なブースには、提案通り来場者にとって分かりやすい形となるよう検討する。

（米田）

廃棄物処分場の埋め立て可能年数は

質 最終処分場にはどのようなものを埋めているのか。

答 飛灰のほか、燃やせるごみの中に混入している針金やネジ、貝殻、土砂などが、焼却されずに排出された焼却不燃物などの焼却残渣である。

質 この処分場は、供用開始から23年目を迎えるが、現在の埋め立て状況と今後の埋め立て可能年数は。

答 約54%埋め立てが完了している。埋め立て可能年数は約24年であり令和27年度までの見積もりとなっている。

（佐々木）

雇用の安定化へ向けた取り組みは

質 雇用対策支援事業は、雇用の安定化という観点から大切な事業と考えている。今後を含めてどのように取り組まれていくのか。

答 季節労働者の働く環境づくり、雇用の安定化という点で本事業は重要であるものと考えている。

令和4年度においても、通年事業として公共施設の清掃のほか、冬場の除雪、ポーターサービス、いずれも就業機会の確保として、就労の安定が図れるよう関係事務に当たっていく。

（井野）

本市における森林の実態は

質 市内の森林の内訳と比率についてどうなっているのか。

答 本市の森林面積は、国有林が1万379ヘクタールで行政面積の49%であり、民有林は5千172ヘクタールで行政面積の24%となっている。

質 これだけ広い森林を管理していくのは行政では無理があるため、本市の貴重な森林を守るために専門業者に任せるべきだと考えるが、市の見解は。

答 そのような業者があれば、ぜひお話を伺いたいと考えている。

（村井）

観光大使とのコラボ返礼品第2弾を

令和3年度ふるさと納税返礼品として、本市観光大使である新日本プロレス所属プロレスラー、矢野通選手とのコラボTシャツを企画立案し、実現していただきました。

継続の要望もあり、質問しました。

質 矢野選手が試合で着用してくれていることなどもあり、反響は大きいですが、コラボ返礼品第2弾への考えは。

答 魅力ある返礼品の企画開発として、矢野選手とのコラボグッズ第2弾も検討している。

（足立）

12月中の新入学準備金の支給は

質 小・中学校の新1年生に支給される新入学準備金は3月に支給されるが、入学時に必要となるランドセル、靴、制服、上靴などを用意するには必ずしも十分な期間があるとは言えない。準備金を有効に活用するため支給時期を早めるべきと思うが、市の考えは。

答 転校による準備金の返還事務手続きが増えることが考えられるため、支給時期を3月としている。

有効活用のため、支給時期を1〜2月にすべきと求めました。

（渡辺）

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？



令和4年
第2回定例会は
6月10日(金)から
開催される予定です。

今年度から導入されているオンラインを活用した委員会が4月13日広聴・公開委員会（左）及び22日議会運営委員会（右）で行われました。



本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンなどからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ご来場による傍聴はできる限りお控えいただき、スマートフォンやパソコンから議会中継をご覧いただきますよう、ご協力をお願いします。